

(報道資料)

**QRコード表示による検知器認証と顔認証で
検知器のすり替えやなりすましなどの不正を防止
燃料電池式アルコール検知器「ALBLO FC-1500」を1月28日に発売**

2021年1月28日
株式会社タニタ



燃料電池式アルコール検知器「ALBLO FC-1500」

健康総合企業の株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）は、ワンタイムのQRコード※1を画面表示することによる検知器認証機能を備えたアルコール検知器「ALBLO FC-1500」を開発、1月28日に発売します。これをタニタが提供する「ALBLOクラウドサービス※2」と接続して使用することで、検知器と被検者をともに認証することが可能となり、検知器のすり替えや被検者のなりすましなどの不正を防止できます。機器と本人を同時に認証できる機能を備えたアルコール検知器は国内で初めて。価格は4万5000円（税別）。アルコール検査対応が必要な運輸運送事業者を中心に、初年度1万台の販売を計画しています。

飲酒運転に起因する交通事故の増加を背景に、2011年5月に自動車運送事業者の点呼時アルコール検知が義務付けられました。また、2019年7月には航空業界においても乗務員に加え、整備従事者と運航管理者のアルコール検知器による検査が義務付けられました。こうした動きを受けて、アルコール検知器市場は拡大傾向にあり、遠隔地での検査や多人数の管理ができる機器やサービスも近年増加しています。一方で、なりすましや検知器のすり替えによる不正が問題となっており、その対策が求められていました。

今回発売する「FC-1500」はワンタイムのQRコードを画面に表示することにより、検知器自体を認証できるのが特徴です。タニタがすでに運用している「ALBLOクラウドサービス」と「FC-1500」とを接続すれば検知器と本人を同時に認証することが可能となり、不正を徹底防止して、検査の公正性を担保できるようになります。

具体的な検査手順は次の通りです。まず、検知器正面の液晶部にQRコードを表示し、タブレットやスマートフォンなどの端末にインストールした「ALBLOクラウドサービス」のアプリケーションソフトで読み取ります。次に、検知器と端末をBluetooth[®]※3で接続し、読み取ったQRコードと使用する検知器が一致しているかどうかを認証して検査を開始。検査中にもQRコードを読み取り、機器認証を行います。最後に、検査結果と機器情報を含んだQRコードを読み取って検査は終了です。検査ごとにワンタイムのQRコードを生成するため、他の検査時に生成されたQRコードの画像を使うことなどによる機器のすり替えもできません。また、機器認証と並行して、「ALBLOクラウドサービス」の顔認証機能で検査前と検査中に被検者の顔認証を行うため、なりすましも防止します。

本体サイズは幅64mm、高さ138mm、奥行25mmで、重量は約180g（電池含む）。ハンディタイプで、既存のタニタ商品に比べ約35%の小型化を実現し、女性でも手軽に測定することができます。また、呼気を吹き込むマウスピースの取り付け方向を本体に対して垂直方向にすることで、検査時に管理者が検知器の表示部を確認しやすいようにしました。

タニタはこれまで家庭用から業務用（燃料電池式）まで250万台以上のアルコール検知器を販売してきました。2015年からはアルコール検知器協議会（J-BAC）に加盟し、アルコール検知器の技術や品質の向上ならびに普及・啓発に取り組んでいます。また、2020年からは検知器の製造販売に加え、「ALBLOクラウドサービス」を提供することでアルコールチェックの運用におけるサポートも行っています。本商品の発売により、商品とサービスの両面で、より安全な社会の実現に一層貢献していく方針です。

※1 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※2 タニタが提供する運輸運送事業者向けのクラウド型アルコール検知サービス。顔認証と画像による行動記録を組み合わせることで、なりすましを防止し公正性を担保できます。また、導入先の基幹システムと連携することで、検査未実施時に運航準備を一時停止するなどの仕組みを構築できます。

※3 Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社タニタは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



「ALBLOクラウドサービス」と接続することで、検知器と被検者の認証が可能

お客様からのお問い合わせ先

株式会社タニタ お客様サービス相談室
ナビダイヤル:0570-099655
受付時間:平日9:00-18:00

本資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。